

第 2 章 建築・構造

【内部】

2-1 内部改修基本方針

アリーナ内は鉄部の錆・人工芝の劣化が著しく、早急に手当が必要なものと判断している。上部架構の改修には仮設足場を必要とし工事も長期間にわたるため、休館を余儀なくされるなど施設利用者への影響も大きい。

今回の改修工事に対応を施す。

更衣室など付属諸室については、築 29 年の建物相応の劣化・機能低下の兆しが見られるものの、まだ利用可能な状態でもある。将来的に劣化・機能低下を起こしたとしても、これらの修繕は短時間でできるものであり、施設利用者への影響は比較的軽微である。

今回の諸室改修工事では、修繕が必要な清掃委託管理室及び利便性の向上を図るトイレのみを対象とする。その他、経年劣化等に伴う必要な改修を行う。

2-2 アリーナ内構造鉄骨及び塗装

現状・調査結果)

アリーナ鉄骨トラスは全般的に錆の発生が認められる状況であった。特に南北面ジャロジー窓周辺（南面のが激しい）、トラス架構最上部に錆が顕著に見られる。塩害及び結露が原因と推察される。

特に劣化の激しい箇所を選定し、板厚計測調査・発生状況確認・塗膜調査を実施した。結果、一部トラスで減肉率が高い部位が確認された。主な原因としては、外部からの塩害・結露による湿気・一部雨樋からの漏水である。

現況写真)



改修方針)

今回の改修工事では、複雑なトラス構造の中、鉄骨部材の再塗装を施すこととしており、基本的に錆を除去しながらの塗替え工程となることや高所での安全確保、工程の短縮などに配慮しながら、高耐久の仕様を選定して施工することを想定している。ただし、建物現状調査における調査箇所が 5 箇所と少ないた

め、着工後の仮設足場を設置した段階で追加調査を実施し、他の錆の発生が激しい箇所がないか確認すること。

また、錆の除去については活膜を生かし、ケレン撤去に代わる新たな提案による施工も可能とする。

目視による一次調査により、劣化度合いが激しい部材を選別し、二次調査により減肉の確認を行う。なお、減肉率が高い部材については、減肉した範囲の設計図書を作成の上、改修方法を提案すること。(例：鋼鈑の溶接施工により一体化を図り、元の断面性能を確保する等)

基本計画書作成時点での錆除去を想定した範囲は次に示す鉄骨劣化状況に図示した通りである。

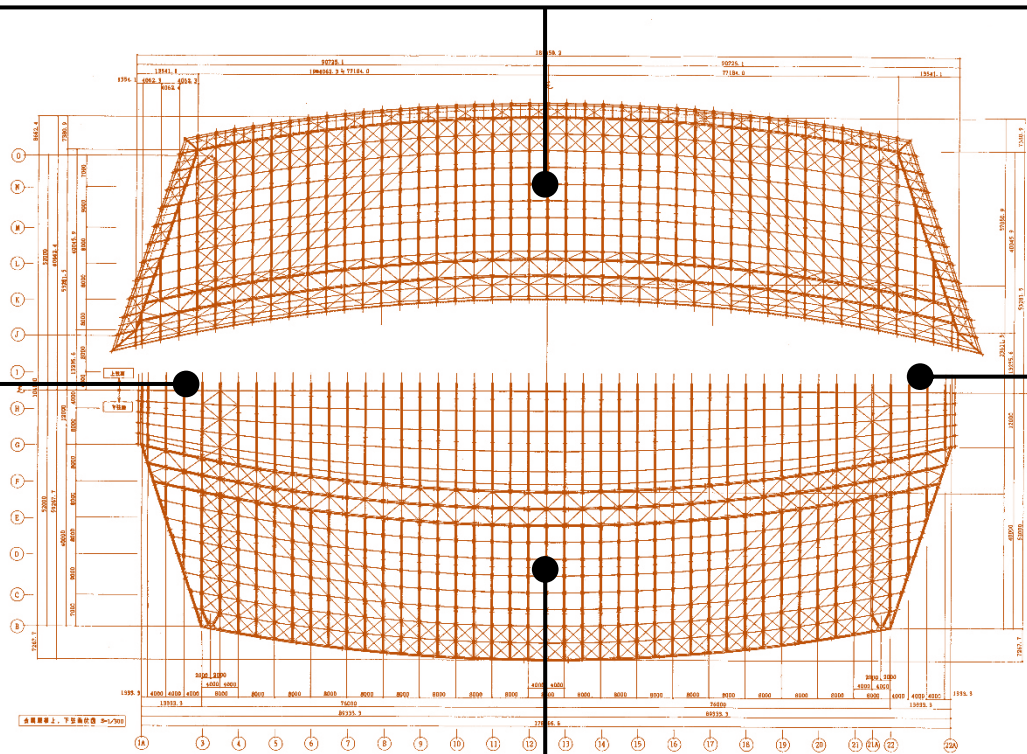
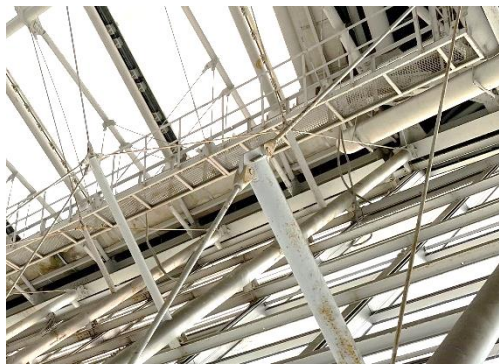
また、現塗装の下塗りには鉛含有塗料を使用している。

塗装範囲はアリーナ鉄骨トラスの他、カーテンウォール下地鉄骨・傾斜型ブラインドを支える 2 次部材などアリーナに面する鉄部全てを含む。

東面劣化状況： 全面的に細かな錆がある。特に大屋根の頂部の劣化がはげしい状況。錆の発錆、塗装の割れ欠け、2つの現象がある。



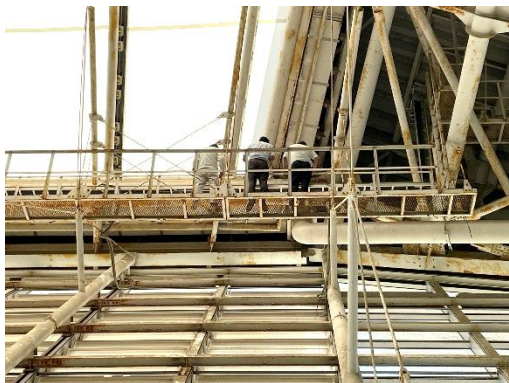
北面劣化状況： 南面よりも劣化が少ないものの、各所に錆の発生がある。雨樋部分に漏水も認められる。



西面劣化状況： 全面的に細かな錆があるが、大屋根の頂部の劣化がはげしい状況。錆の発錆、塗装の割れ欠け、2つの現象がある。



南面劣化状況： 全面的に錆の発生が激しい状況。特にジャロジー窓に面している部分が激しい。雨樋部分に漏水も認められる。



2-3 人工芝

現状・調査結果)
人工芝はねじれ・不陸などが発生している状況であった。

調査では、人工芝・クッション層・下地アスファルト舗装の厚み・劣化・平坦性の調査を実施した。結果、全面的な不陸に加え、人工芝やアスファルトは劣化が激しいことが確認された。主な原因としては、経年劣化及びメンテナンス車両の走行による負荷が考えられる。

現況写真)



改修方針)
今回の改修工事では、アスファルト舗装下の砕石から不陸調整を実施した上で、全面的に張り替え直すこととする。なお既存アスファルト舗装は透水アスファルトを採用しているが、散水による維持管理は行っていないため、改修工事では密粒アスファルトの採用を可とする。
人工芝の仕様は、アスファルトを開粒から密粒へ変更、アンダーパットの廃止、人工芝の厚みを 25mm から 19mm に変更、などの見直しを行う。砕石は既存活用して、コスト低減に心がけるものとする。埋設されている集水管は残置とし、テニスポストなどの付帯設備も更新するものとする。

2-4 鋼製建具類

現状・調査結果)
内部鋼製建具は大別すると、①アリーナのスチール製大型引戸 ②一般居室のスチール製軽量開き戸 ③機械室等のスチール製開き戸 ④器具庫シャッター ⑤アリーナ内カーテンウォールのロールスクリーン がある。
調査では、目視及び動作確認を行った。不具合状況は以下の通りである。

- ①スチール製大型引戸
スチール及び塗装・・・劣化している。一部錆あり。
ポリカーボネート・・・劣化しているが、機能は支障なし
金物・・・ハンガーレールの摩耗、鍵の故障、下枠の故障など不具合あり
- ②スチール製軽量開き戸
スチール・・・支障なし。経年劣化程度。
金物・・・支障なし
- ③スチール製開き戸
スチール及び塗装・・・支障なし。経年劣化程度。
金物・・・特に支障なし。
- ④スチール製シャッター
スチール・・・支障なし。経年劣化程度。
金物・・・支障なし
- ⑤アリーナ内ロールスクリーン
状況・・・可動せず。

現況写真)



改修方針)
① スチール製大型引戸
扉・枠は再塗装を施すこととし、付属金物は一式更新する。ポリカーボネートとも交換不要であり、既存のままとする。塗装種別は、DP-A 種（上塗フッ素）とする。
② スチール製軽量開き戸 ・・・現状のままとする。
③ スチール製開き戸 ・・・現状のままとする。
④ スチール製シャッター ・・・現状のままとする。
⑤ アリーナ内ロールスクリーン ・・・現状のままとする。

2-5 天井吊物昇降装置

現状・調査結果）
天井吊物については、竣工後一度も取り替えていない状況であった。

調査では駆動装置・バトン・防球ネットの状態を判定した。結果、取替時期に達しているため、交換が必要と判定している。

現況写真）



改修方針）

調査では全ての吊機構（40 箇所）の駆動装置、ワイヤー/滑車類、センサー全てを更新する必要があるが、現状の使用状況を確認したところ国旗用バトン、防球ネット用バトン、サテライトスピーカーのみの使用である。サテライトスピーカーについては、音響装置の見直しから使用しなくなるため、国旗用バトン（1 箇所）、防球ネット用バトン（9 箇所）の駆動装置、ワイヤー/滑車類、制御盤、操作盤の更新を行う。
使用しない吊機構については老朽化しているため、バトン・ワイヤー・スピーカー・昇降マシン内オイルは撤去するが駆動装置は残置とする。
防球ネットについては今回更新する。

2-6 各室内装仕上

現状・調査結果）
アリーナ内の鉄骨及び人工芝については上述しているため、それ以外の部分について報告する。

調査では竣工図面と現地の照合、及び目視による確認を全室行った。竣工図に記載された部屋名と実際の部屋の使われ方については、概ね変わりはない。また各室の仕上材についても、概ね図面通りであった。
内装仕上の劣化状況は、築 29 年の建物相応の劣化・機能低下の兆しが見られるものの、まだ利用可能な状態であった。

現況写真）



改修方針）

今回の改修工事では、修繕が必要な部屋は利便性向上のためのトイレ全面改修、清掃委託管理室を改修する。残りは現状のままとする。
以下に修繕が必要な主な部屋について理由を示す。

- カーテンウォール：ホコリが溜まりやすい形状であるため、内部側の全面清掃を行う。南北面のカーテンウォールは外部面も清掃を行う。
- コンコース： 床にクラックが認められる状況であった。また観客の往来により、床の汚れが激しい場所でもある。今回の改修工事では、表面研磨してクラック部位を修繕した上で、樹脂塗床を施工するものとする。
- トイレ： 和便器の洋式化に伴い、内装・設備を全面的に改修する。具体的には、床・壁・天井材の更新、トイレブースの更新（ブース高さは天井までとし覗き防止）、建築に伴う設備改修の更新、照明の更新を行う。また、大規模イベントに対応できる、より良い改修案の提案を求める。
- 清掃委託管理室： 室内で洗濯機を使用しているが、洗濯機パンが設置していない。また室内のカビ・汚れなども他室に比べて激しい。今回の改修工事では、床・壁・天井とも一旦撤去の上、同材料で施工する。また洗濯機パンも設置する。照明も更新する。
- 授乳室： 現状は授乳室がないため、設置型授乳室を 2 箇所設置する。設置箇所は設計業務の中で発注者と協議のうえ決定する。電源供給は必要だが、給排水は不要のタイプとする。下記に商品事例を示す。

○商品例 1）mamaro (<https://trim-inc.com/products/mamaro/>)

主な室内設備：ソファ、可動式ソファ、モニター、コンセント

サイズ：高さ：203cm／幅：180cm／奥行：90cm（室内の高さ 190cm／室内面積 1.28 m²）

○商品例 2）babypeko (<https://babypeko.com/>)

サイズ：高さ：211.5cm／幅：138cm／奥行：138cm

【外部】

2-7 外部改修基本方針

金属屋根・膜屋根とも材質は良好であり、葺き替えする必要はない。ただし軒先・水切など劣化が進行、膜材の緩みによる屋根上の水溜りなどの不具合があり、改修を必要とする。

カーテンウォール及び窓類の外部側は良好であった。現状のままとする。

構造躯体は良好であった。一部地盤沈下によるクラックがある部分がある。経年劣化に応じた必要な改修を行う。

南側スロープの舗装について、地盤沈下による不陸が生じており改修する。

2-8 金属屋根及び軒先パネル

現状・調査結果)

調査では目視による確認を行った。ステンレス屋根材の状態は錆もなく良好であった。軒先パネルはアルミ材を使用している。錆などは見当たらず良好な状態であるが、白華現象が疑われる。また雨だれなど汚れも目立つ。

現況写真)



改修方針)

今回の改修工事では、ステンレス金属屋根の屋根葺材は現状ままとし、軒先パネルは塗装を施すものとする。塗装種別は金属部塗装種別比較表で示した通り、DP1 塗装とする。

2-9 金属屋根及び軒周辺パネルシーリング・下屋他笠木防水

現状・調査結果)

シンプルな大屋根の建物であるが、軒先や雨樋部分は複雑な形状をしており、それ故シーリングを多用している箇所である。竣工以来、修繕を行っていない。

現況写真)



改修方針)

今回の改修工事では、金属屋根水上側軒立ち上がりパネル周辺のシーリングはすべて打ち直しする。また、下屋笠木立上がり等にはウレタン塗膜防水（X-2）を行う。（図示範囲）に修正する。



2-10 膜屋根

現状・調査結果)

アリーナから見上げると水たまりができている箇所があるため、不具合が懸念される部位である。

調査では、変形や張力の確認、材質・ジョイント部分の確認、その他押え金物等鋼材部分の確認を行った。膜材質そのものは経年相応の汚れがあるものの、材質そのものに問題はない。ただし、張力の緩みや鋼材部分の錆が確認された。膜屋根水下の雨樋は穴が空いている箇所があるため、改修する。

現況写真)



改修方針)

今回の改修工事では、再張力を導入して張りなおす。また押え金物等鋼材は更新の上で塗装する。また雨樋は既存の上から新しい樋を被せるカバー工法を基本とするが、取り替え等他工法の提案（選択）も可能とする。

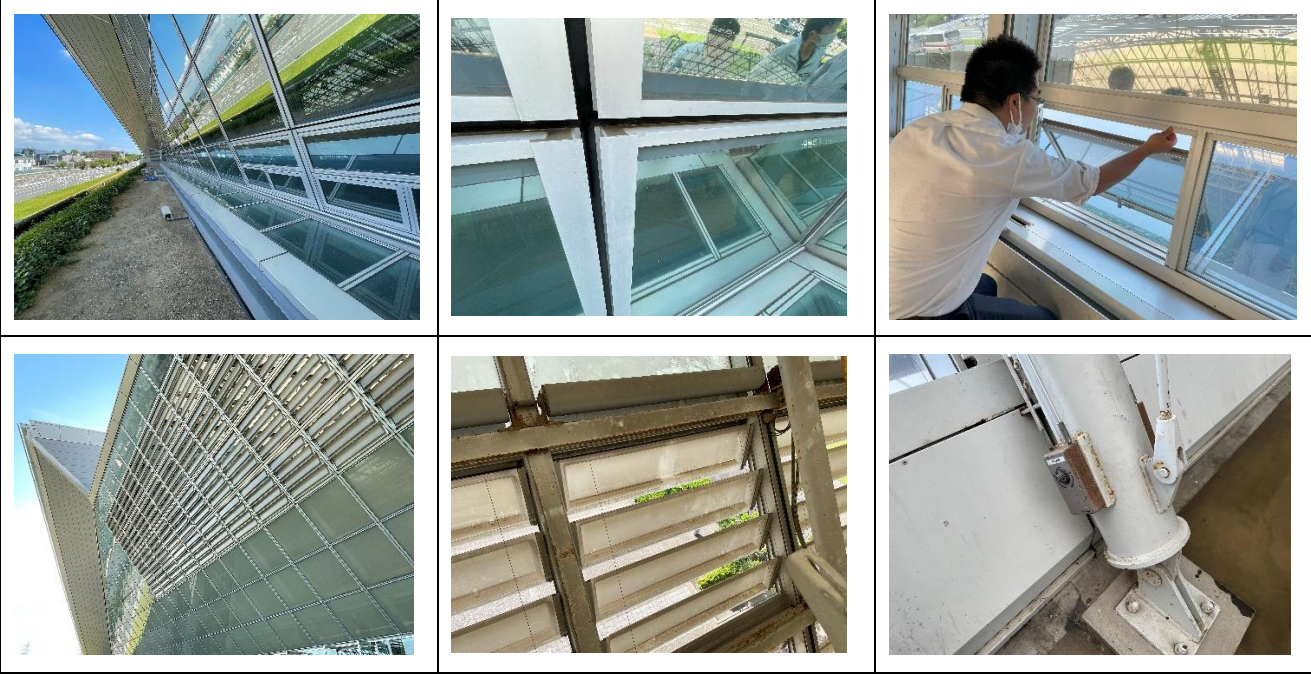
2-11 カーテンウォール（アルミ面・ポリカーボネート板、ステンレス面、塗装面）

現状・調査結果)

可動窓は、①東西面アルミカーテンウォール下部換気窓（手動）、②南北面ジャロジー換気窓（手動）、③大屋根幕板の排煙窓（電動）である。
トップライトは、1階廊下天井に採用されている。

調査では、目視確認・可動確認を実施した。カーテンウォールは外倒れの形状でさらに大庇に覆われていることにより雨掛かりが少なく、アルミ材・シーリング材・ガラス・ポリカーボネートとも健全な状態であった。内部側はホコリ汚れはあるものの、鉄部の錆に比べると材質は健全な状態であった。
可動窓の状況は、①下部換気窓は問題なし、②ジャロジー換気窓は可動するが錆など多く見られる、③幕板排煙窓は防火点検で可動することは確認済、ただし水下部窓が部品交換が必要な時期であった。

現況写真)



改修方針)

アルミ材・シーリング材・ガラス・ポリカーボネートは現状のままとする。
可動窓については、①下部換気窓は現状のまま、②ジャロジー換気窓はオペレーター等付属金物を更新、③幕板排煙窓は水下部のみオペレーター等付属金物を交換、④内部清掃、外部（南北面）清掃をする。

2-12 外部鋼製建具類

現状・調査結果)

外部鋼製建具の種類は大別すると、 ①アリーナ南北面にあるスチール製大型引戸 ②1・2階利用者出入口にあるステンレス製開き戸 ③機械室などのスチール製開き戸の3種類がある。

調査では、目視及び動作確認を行った。不具合状況は以下の通りである。

①スチール製大型引戸

スチール及び塗装・・・劣化している。一部錆あり。

ポリカーボネート・・・劣化しているが、機能は支障なし

金物・・・ハンガーレールの摩耗、鍵の故障、下枠の故障、収納扉の故障など不具合あり

②ステンレス製開き戸

ステンレス・・・支障なし

ガラス・・・支障なし

金物・・・フロアヒンジから油漏れ。扉の可動に支障あり。

③スチール製開き戸

スチール及び塗装・・・劣化している。一部錆あり。

金物・・・特に支障なし。

現況写真)



改修方針)

扉の①付属金物は一式更新、②ガラス・ポリカーボネートとも既存のままとする。

③南側大型引戸収納扉の不具合については、上部にあるオーバーフロー管から落ちてくる水による錆が原因だと考えられるため、今回改修工事で縦樋の接続を行う。

④スチール扉及び枠は再塗装を行う。塗装種別はDP-A種（上塗フッ素）とする。

2-13 建物外部躯体等

建物外部躯体

現状・調査結果)

竣工図によると、コンクリート化粧打放し部分はシラン系撥水剤塗布仕上りである。

調査では、目視調査・打診調査による劣化部位の確認のほか、コア抜きして中性化や塩害の確認を行った。結果、各所でひび割れや浮きが発生している状況が確認されたが、擁壁部分に劣化が集中しており、構造体での発生は低い。また中性化・塩害は経年劣化程度の状態であり、目立った劣化は確認されなかった。

現況写真



改修方針)

今回の改修工事では、劣化部位は補修を施した上で、塗装をコンクリート全面に塗装を施す。

塗装種別については DP-1 級を基本とする。

東側出入口側面擁壁

現状・調査結果)

一部の擁壁・スロープにクラックや舗装の不陸がみられる状況である。外周インターロッキング舗装・アスファルト舗装にも汚れ・割れなどがある。

調査では目視による確認を行った。不具合が特に大きいのは、下記の部位である。

- ① 南側スロープ 最上部及び踊り場床面
- ② 東側出入口 側面擁壁

どちらも周辺の地盤沈下によるものと推察される。杭基礎で支えられている建築物と周辺地盤との間で段差・ゆがみなどが生じている。

現況写真



改修方針)

南側スロープ

コンクリート平板舗装を撤去した上で、下地調整を行い平滑な床面を再構築する。その上でコンクリート平板舗装を張り直すこととする。境界部分には目地材・シーリング材を充填し、将来のさらなる変形にも追従できるようにする。

東側出入口 側面擁壁

地盤沈下で下がった擁壁を持ち上げることは困難のため、躯体はそのままとする。内部の鉄筋・コンクリートの腐食を防ぐため、ひび割れ部位には目地材・シーリング材を充填する。

クラック補修はエポキシ樹脂低圧注入工法などの工法の選定を行い構造体の一体化を図る。

2-14 その他外部鋼製部材類

現状・調査結果)

外部鋼製部材としては、手摺・煙突などが挙げられる。調査では目視による確認を行った。

手摺は場所によってステンレス製・スチール製・アルミ製と使い分けられていることが確認できた。使用箇所と状況は以下の通りであった。

- ① ステンレス製：2 階出入口ポーチ部分で使用。問題なし。
- ② スチール製：階段・スロープ・ドライエリアで使用。塗装が劣化。再塗装が必要。
- ③ アルミ製：海側電気室ドライエリアで使用。竣工後に取り付けたと思われる。ぐらつき危険。

煙突は竣工図によるとスチール鋼管 SOP 塗装となっている。現状は一部塗装が剥げ、錆が発生している。

現況写真



改修方針)

手摺については下記方針とする。塗装は全て DP-A 種（上塗りフッ素）とする。

- ① ステンレス製： 現状のまま
- ② スチール製： 錆除去の上、塗装を行う。階段・スロープ・ドライエリアが対象。
- ③ アルミ製： 撤去。スチール製手摺に更新し、塗装を行う。電気室ドライエリアが対象。

煙突については、錆除去の上、塗装を行う。

2-15 外構その他

現状・調査結果)

植栽は毎月メンテナンスを行っており良好な環境を維持しているが、法面や軒下などで生育が悪い箇所がある。調査では、目視による確認を行った。

南北面軒下

芝の生育もよく、健全な状態であった。ただ大屋根軒下は屋根ラインに沿って植栽が育たず、土壌が見えている状態であった。土砂の沈下・流出もあった。

現況写真)



改修方針)

南北面軒下は、ステンレス屋根下の 4 隅に幅 1m 程度ゴロタ石敷とする。

2-16 改修計画外部仕上表

改修前後の外部仕上げを示す。

部位	改修前	改修後	備考
屋根			
屋根材	フェライト系ステンレス鋼板 0.8 フラットルーフ葺き ダル仕上 下葺材 亜鉛めっき塗装鋼板 1.0 折板葺 開口部吸音パンチング加工 GW10kg/m ³ 50+50mm 四フッ化エチレン樹脂コーティングガラス線維膜	ステンレス屋根：（現況まま） 膜屋根： 緩み部張り直し、押え金物撤去及び更新	
樋・ケラバ	フェライト系ステンレス鋼板加工 20mm	シール撤去の上、再打設	
軒先笠木 幕板	アルミ 2.0 アルマイト	シール撤去の上、再打設（水上部：シール再打設、水下部：金属部再塗装の上、シール再打設） 塗装 DP-A 種（上塗りフッ素）	
点検タラップ	ステンレス製	（現状のまま）	
軒天	フッ素樹脂塗装鋼板 0.5 ロールコア成形サンドイッチパネル裏面 亜鉛メッキ塗装鋼板 0.35 一部換気排煙用アルミパネルサッシ	（現状のまま）	
バラベト笠木	コンクリート直押え 塗膜防水	ウレタン塗膜防水 X-2	
外壁	コンクリート化粧打放し シラン系撥水剤塗布	目地及びクラック部 シール打設 フッ素樹脂コンクリート保護塗装（化粧打放しファンデーション仕上）	
建具	アルミニウム押出型材 アルマイト（9μ+12μ）クリアー	型材：（現状のまま） 排煙窓：オペレーター等可動部品交換、その他：建具再塗装	
ガラス	透明フロートガラス FL12、FL15 東西面ガラス遮光シール貼り ポリカーボネートシート 5mm 加工品	（現状のまま）	
庇	フッ素樹脂塗装鋼板 0.8 フラットルーフ葺	屋根材：（現状のまま） シール撤去の上、再打設	
地下防水	無機質浸透性塗布防水	（現状のまま）	
外構			
擁壁	コンクリート化粧打放し シラン系撥水剤塗布	クラック部 シール補修 フッ素樹脂コンクリート保護塗装（化粧打放しファンデーション仕上）	
手摺	スチール SOP（亜鉛メッキの上）	DP-1 塗装	
煙突	スチール鋼管 962Φ,t=9mm SOP 塗装 SUS リング	DP-1 塗装 （本体、SUS リングとも）	
LPG 供給施設	コンクリート化粧打放し シラン系撥水剤塗布	クラック部 シール補修 フッ素樹脂コンクリート保護塗装（化粧打放しファンデーション仕上）	
法面等	西面： シャリンバイ・高麗芝 東面： 〃 北面： 〃 角部： 〃	西面： 現況のまま 東面： 現況のまま 北面： 現況のまま 角部： 四方屋根下角 ゴロタ石敷	
舗装	インターロッキング舗装 及び コンクリート平板舗装	（現状まま）	
南スロープ	床： コンクリート平板舗装 腰： コンクリート化粧打放し シラン系撥水剤塗布 スチール手摺 SOP 塗装	床： 浮き上がり部のみ 撤去補修の上、同材料貼り付け 腰： コンクリート化粧打放し フッ素樹脂コンクリート保護塗装（化粧打放しファンデーション仕上） スチール手摺 DP-1 塗装	
側溝・枅	コンクリート製 グレーチング蓋	（現状のまま）	内部清掃を実施
ドライエリア	蓋：亜鉛メッキグレーチング 外周部：アルミ手すり	蓋：（現状のまま） 外周部： アルミ手すり撤去の上、スチール手摺 DP-A 種（上塗りフッ素）塗装	
駐車場	緑化パーキング	（現状のまま）	緑化パーキング上にある物置小屋（3棟）の内2棟撤去（基礎とも）とし、1棟は残置とする。

2-17 改修計画内部仕上表

改修前後の内部仕上げを示す。

- 判定基準
- A: 良好、もしくは部分的に劣化が見られるが安全上、機能上問題なし

B: 随所、広範囲に劣化が見られ安全上、機能上低下の兆しが見られる

C: 劣化の程度が大きく安全上、機能上に問題があり早急に対応する必要がある

- 共通事項
- 全ての部屋に清掃を実施する

シート系床材の部屋はワックス掛けを実施する

階	室名		床	判定	巾木	判定	壁	判定	天井	判定	張天井高	廻り縁	BB	造作・備考	判定
1階	アリーナ	改修前	人工芝 アスコン	C			壁部：RC 化粧打放し		鉄部：長油性フタル酸樹脂塗装		－				
		改修後	人工芝・クッション材・アスファルト撤去の上、路盤修正（碎石を補充）した上で密粒アスファルト（80 mm）を施工し、砂入り人工芝（19 mm）貼				（現状のまま）		鉄部：既存塗装及びサビ除去の上、さび面弱溶剤形高遮断性変性エポキシ樹脂塗料/弱溶剤形エポキシ・シリコン変性樹脂系下上兼用塗料					トラス・2 次部材・キャットウォーク・折版など、鉄部はすべてさび面弱溶剤形高遮断性変性エポキシ樹脂塗料/弱溶剤形エポキシ・シリコン変性樹脂系下上兼用塗料	
	観客席	改修前	PC コンクリート ハードナー塗布	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			客席	A
		改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		－					空調ダクト及び支持鉄骨 DP-3 塗装	
	南玄関	改修前	長尺塩ビシート	B	－		プラスターボード AEP RC 化粧打放し	B	一部木毛板 t25 AEP ケイカル板 AEP RC 化粧打放し（梁型）	B	3800 2600	アルミ A.BE			
		改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑			
	西玄関-1	改修前	長尺塩ビシート	B	－		RC 化粧打放し	A	ケイカル板 AEP トップライト鉄部 SOP	B	2800	アルミ A.BE			
		改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑		授乳室 既製品 2 基設置	
	西玄関-2	改修前	長尺塩ビシート	B	－		RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP	B	2500	アルミ A.BE			
		改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑			
	北玄関 1	改修前	長尺塩ビシート	B	－		RC 化粧打放し	A	ケイカル板 AEP		3800	アルミ A.BE			
		改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑			
	北玄関 2	改修前	長尺塩ビシート	B	－		RC 化粧打放し	A	ケイカル板 AEP RC 型枠外しのまま		3800	アルミ A.BE			
		改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑			
	東玄関 1	改修前	長尺塩ビシート	B	－		RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP		2500	アルミ A.BE			
		改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑			
	東玄関 2	改修前	長尺塩ビシート	B	－		RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP		2500	アルミ A.BE			
		改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑			
	廊下 1	改修前	長尺塩ビシート	B	－		RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP		2600	アルミ			

										A.BE			
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
廊下 2	改修前	長尺塩ビシート	B	－	RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP グラスティッシュガラス		2500 3000	アルミ A.BE			
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
廊下 3	改修前	長尺塩ビシート	B	－	RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP グラスティッシュガラス		2500 3000	アルミ A.BE			
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
廊下 4	改修前	長尺塩ビシート	B	－	RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP グラスティッシュガラス		2500 3000	アルミ A.BE			
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
廊下 5	改修前	長尺塩ビシート	B	－	RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP グラスティッシュガラス		2500 3000	アルミ A.BE			
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
廊下 7	改修前	長尺塩ビシート	B	－	RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP		2600	アルミ A.BE			
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
廊下 8	改修前	長尺塩ビシート	B	－	RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP		2600	アルミ A.BE			
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
廊下 9	改修前	長尺塩ビシート	C	－	RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP		2500 3000	アルミ A.BE			
	改修後	既存塩ビシート撤去の上、 ケイ酸ナトリウム系コンクリート表面 強化材			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
廊下 10	改修前	長尺塩ビシート	C	－	RC 化粧打放し	A	プラスターボード AEP		2500 3000	アルミ A.BE			
	改修後	既存塩ビシート撤去の上、 ケイ酸ナトリウム系コンクリート表面 強化材			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
A 階段ホール	改修前	長尺塩ビシート	B		プラスターボード AEP RC 化粧打放し		ケイカル板 AEP		2600	アルミ A.BE			
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
D 階段ホール	改修前	長尺塩ビシート	B		プラスターボード AEP RC 化粧打放し		ケイカル板 AEP		2600	アルミ A.BE			
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
B 階段ホール	改修前	長尺塩ビシート	B		RC 化粧打放し		ケイカル板 AEP		2600	アルミ A.BE		掲示板	
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
C 階段ホール	改修前	長尺塩ビシート	B		RC 化粧打放し		ケイカル板 AEP		2600	アルミ A.BE		掲示板	
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
A 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地	B	－	RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)			(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			

B 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
C 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
D 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床モルタル下地	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
E 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
F 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
G 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
H 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
I 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
J 階段	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			SUS ノンスリップ	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑			
男子 WC 1	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス 化粧ケイカル板	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用） 汚垂石（セラミックタイル）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
女子 WC 1	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
男子 WC 2	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス 化粧ケイカル板	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用） 汚垂石（セラミックタイル）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議	

														照明（LED 化）	
女子 WC 2	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ			便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑			ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
男子 WC 3	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス 化粧ケイカル板	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ			便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用） 汚垂石（セラミックタイル）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑			ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
女子 WC 3	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ			便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑			ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
男子 WC 4	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス 化粧ケイカル板	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ			便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用） 汚垂石（セラミックタイル）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑			ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
女子 WC 4	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ			便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑			ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
男子 WC 5	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス 化粧ケイカル板	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ			便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用） 汚垂石（セラミックタイル）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑			ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	

女子 WC 5	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
男子 WC 6	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス 化粧ケイカル板	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用） 汚垂石（セラミックタイル）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
女子 WC 6	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
男子 WC 7	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス 化粧ケイカル板	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用） 汚垂石（セラミックタイル）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
女子 WC 7	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
男子 WC 8	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス 化粧ケイカル板	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用） 汚垂石（セラミックタイル）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	

女子 WC 8	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース A タイプ（照明有） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		RC 化粧打放し：撥水剤塗布 壁及びライニング：高圧メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） トイレプランは設計時に協議 照明（LED 化）	
男子 WC 9	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード VP	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース B タイプ（照明無） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用） 汚垂石（セラミックタイル）		SUS 巾木（メタカラー程度）		石膏ボード：NAD 塗装		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） 照明（LED 化）	
女子 WC 9	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード VP	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		便所ブース B タイプ（照明無） 洗面台 鏡	B B A
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		石膏ボード：NAD 塗装		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		ブース：メラミン化粧板（天井まで） 洗面台：人工大理石 鏡（耐蝕） 照明（LED 化）	
多目的 WC 1	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水	B	ソフトビニール巾木	B	RC 壁型枠外しのまま 補修 ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		手摺	B
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		手摺、鏡、洗面台、ペビーベッド 照明（LED 化）	
多目的 WC 2	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水	B	ソフトビニール巾木	B	RC 壁型枠外しのまま 補修 ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		手摺	B
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		手摺、鏡、洗面台、ペビーベッド 照明（LED 化）	
多目的 WC 3	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水	B	ソフトビニール巾木	B	RC 壁型枠外しのまま 補修 ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		手摺	B
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		手摺、鏡、洗面台、ペビーベッド 照明（LED 化）	
多目的 WC 4	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水	B	ソフトビニール巾木	B	RC 壁型枠外しのまま 補修 ビニルクロス	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		手摺	B
	改修後	長尺塩ビシート（トイレ用）		SUS 巾木（メタカラー程度）		メラミン化粧板		ロックウール化粧吸音板		↑	↑		手摺、鏡、洗面台、ペビーベッド 照明（LED 化）	
SK（共通）	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード VP		プラスターボード AEP		2500	塩ビ		SUS 棚、SUS 吊フック	
	改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑		扉 EP 塗装 間接照明 LED 更新	
ELV 機械室 1	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布	B	－		GW ガラスクロス押え t25	B	GW ガラスクロス押え t25	B	－				
	改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑			
ELV 機械室 2	改修前	コンクリート直押えハードナー塗布	B	－		GW ガラスクロス押え t25	B	GW ガラスクロス押え t25	B	－				
	改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑			
ロッカー・シャワー室 1 （ロッカーエリア）	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	A	モルタル VP	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		洗面台 鏡 照明ボックス	C A B

	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
ロッカー・シャワー室 1 (シャワーエリア)	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地 増打ち 200	B	-		磁器タイル貼り モルタル VP	B	ケイカル板 VP	B	2500	塩ビ		シャワールーム 照明ボックス	B B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
ロッカー・シャワー室 2 (シャワーエリア)	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地 増打ち 200	B	-		磁器タイル貼り モルタル VP	B	ケイカル板 VP	B	2500	塩ビ		シャワールーム 照明ボックス	B B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
ロッカー・シャワー室 2 室外機スペース 1	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	B	ー		RC 壁型枠外しのまま	B	開口部グレーチング RC 壁型枠外しのまま	B	ー	ー		階段及び手摺	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
ロッカー・シャワー室 3 (ロッカーエリア)	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	モルタル VP	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		洗面台 鏡 照明ボックス	C A B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
ロッカー・シャワー室 3 (シャワーエリア)	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地 増打ち 200	B	-		磁器タイル貼り モルタル VP	B	ケイカル板 VP	B	2500	塩ビ		シャワールーム 照明ボックス	B B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
ロッカー・シャワー室 2 室外機スペース 2	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	B	ー		RC 壁型枠外しのまま	B	開口部グレーチング RC 壁型枠外しのまま	B	ー	ー		階段及び手摺	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
ロッカー・シャワー室 4 (ロッカーエリア)	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	モルタル VP	B	プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		洗面台 鏡 照明ボックス	C A B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
ロッカー・シャワー室 4 (シャワーエリア)	改修前	ウレタン樹脂塗床 モルタル下地 増打ち 200	B	-		磁器タイル貼り モルタル VP	B	ケイカル板 VP	B	2500	塩ビ		シャワールーム 照明ボックス	B B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
男子シャワー更衣室 (身障者更衣室)	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	モルタル VP	B	ケイカル板 VP	B	2500	塩ビ		脱衣棚 シャワーカーテン 手摺	B B B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
女子シャワー更衣室 (身障者更衣室)	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	モルタル VP	B	ケイカル板 VP	B	2500	塩ビ		脱衣棚 シャワーカーテン 手摺	B B B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
事務室	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス ガラススクリーン	B	岩綿吸音板 プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ	S	受付台	A
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
待機室	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス ガラススクリーン	B	岩綿吸音板	A	2500	塩ビ	S		
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
事務室 (旧館長室)	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス	B	岩綿吸音板	B	2500	塩ビ	S		

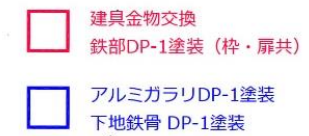
						ガラススクリーン		プラスターボード AEP						
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
更衣室 (男女)	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス	B	岩綿吸音板 プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ		カーテンレール	A
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
応接室	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス ガラススクリーン	B	岩綿吸音板	A	2500	塩ビ	S	縦型ブラインド	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
医務室	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス ガラススクリーン	B	化粧石膏ボード	B	2500	塩ビ	S	洗面化粧台	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
中央監視室	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	モルタル VP RC 型枠外しのまま 補修 VP	B	化粧石膏ボード	B	2500	塩ビ		受付台	
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
音響映像機器室	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	モルタル VP RC 型枠外しのまま 補修 VP	B	化粧石膏ボード	B	2500	塩ビ			
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
湯沸室	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水 増打ち H200	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し プラスターボード VP	B	ケイカル板	B	2500	塩ビ		流し台 吊り戸棚	B B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
大会議室	改修前	ビニルタイル	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス ガラススクリーン	B	岩綿吸音板 プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ	S	ホワイトボード 縦型ブラインド	A B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
小会議室	改修前	ビニルタイル	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス ガラススクリーン	B	岩綿吸音板 プラスターボード AEP	B	2500	塩ビ	S	ホワイトボード 縦型ブラインド	A B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
控室-1	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP 化粧石膏ボード	A	2500	塩ビ			
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
控室-2	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP 化粧石膏ボード	A	2500	塩ビ			
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
器具庫 (旧控室-3)	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP 化粧石膏ボード	A	2500	塩ビ			
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
清掃委託管理室	改修前	長尺塩ビシート	C	ソフトビニール巾木	B	モルタル VP プラスターボード ビニルクロス	B	プラスターボード AEP 化粧石膏ボード	C	2500	塩ビ		ミニキッチン W1440 洗濯機 (パン無し)	B -
	改修後	既存塩ビシート撤去の上、同材料 張替		既存撤去の上、同材料張替		モルタル VP 再塗装 ビニルクロス撤去の上、同材料張替		既存下地の上、EP 塗装		↑	↑		ミニキッチン撤去、L1200 設置 洗濯機パン設置 照明 (LED 化)	
踏込み 1	改修前	長尺塩ビシート コルクタイル RC H100	B	ソフトビニール巾木	B	ガラススクリーン		プラスターボード AEP		2500	塩ビ		上り框	A
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
練習室	改修前	フローリング	A	堅木 VP	A	有孔ケイカル板 AEP RC 化粧打放し	B A	プラスターモード AEP スチールメッシュ GW t25 RC 型枠外しのまま		2800		S	鏡、手摺	A

	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
幼児室	改修前	コルクタイル	B	—		ガラススクリーン RC 化粧打放し	A A	プasterモード AEP	B	2500	塩ビ	S		
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
踏み 2	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	RC 化粧打放し	A	プasterモード AEP	A	2500	塩ビ		上り框	A
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
準備室	改修前	長尺塩ビシート	B	ソフトビニール巾木	B	有孔ケイカル板 AEP RC 化粧打放し	B A	プasterモード AEP スチールメッシュ GW t25 RC 型枠外し AEP	A A A A	2800		S	縦型ブラインド	A
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
用具庫	改修前	コンクリート直押え	A	—		RC 壁型枠外しのまま	A	RC 壁型枠外しのまま	A	—				
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
器具庫-1	改修前	コンクリート直押え	A	—		RC 壁型枠外しのまま	A	RC 壁型枠外しのまま	A	—				
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
器具庫-2	改修前	コンクリート直押え	A	—		RC 壁型枠外しのまま	A	RC 壁型枠外しのまま	A	—				
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
主機械室	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布 増打ち H200	B	—		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	一部木毛板 t25 GW ガラスクロス押え t25	B	—			機械基礎 M.STEP	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
受水槽・ポンプ室	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布 増打ち H200	B	—		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	一部木毛板 t25 GW ガラスクロス押え t25	B	—			機械基礎 P.STEP	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
空調機械室 1	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布	B	—		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	GW ガラスクロス押え t25	B	—			機械基礎 STEP 1	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
空調機械室 1 ドライエリア・チャンバー	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	C	—		RC 壁型枠外しのまま	B	開口部グレーチング RC 壁型枠外しのまま	B				建具枠	C
	改修後	ウレタン塗膜防水				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		建具枠撤去の上、ウレタン塗膜防水	
空調機械室 2	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布	B	—		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	GW ガラスクロス押え t25	B	—			機械基礎 STEP 2	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
空調機械室 2 ドライエリア・チャンバー	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	C	—		RC 壁型枠外しのまま	B	開口部グレーチング RC 壁型枠外しのまま	B				建具枠	C
	改修後	ウレタン塗膜防水				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		建具枠撤去の上、ウレタン塗膜防水	
空調機械室 3	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布	B	—		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	C	GW ガラスクロス押え t25	B	—			機械基礎 STEP 3	B
	改修後	(現状のまま)				ガラスクロス撤去 漏水部補修の上、		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
空調機械室 3 ドライエリア・チャンバー	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	C	—		RC 壁型枠外しのまま	B	開口部グレーチング RC 壁型枠外しのまま	B				建具枠	C
	改修後	ウレタン塗膜防水				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		建具枠撤去の上、ウレタン塗膜防水	
空調機械室 4	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布	B	—		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	GW ガラスクロス押え t25	B	—			機械基礎 STEP 4	B
	改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
空調機械室 4 ドライエリア・チャンバー	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	C	—		RC 壁型枠外しのまま	B	開口部グレーチング RC 壁型枠外しのまま	B				建具枠	C

		改修後	ウレタン塗膜防水				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		建具枠撤去の上、ウレタン塗膜防水	
	電気室	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布 増打ち H200	C	－		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	－			機械基礎 配線ビット	B
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	電気室 ドライエリア	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	B	－		RC 壁型枠外しのまま	B	開口部グレーチング RC 壁型枠外しのまま	B					B
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	発電機室	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布 増打ち H200	C	－		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	－			機械基礎 配線ビット	B
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	発電気室 ドライエリア	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	B	－		RC 壁型枠外しのまま	B	開口部グレーチング RC 壁型枠外しのまま	B					B
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	MDF 室	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布 増打ち H200	B	－		プasterボード 素地 GW ガラスクロス押え t25	A	RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t26	A	－				
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	空調機械室 2 (外)	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布	B	－		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	GW ガラスクロス押え t25	B	－			機械基礎 STEP 2	B
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	雨水受入自動スクリーン室	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布	B	－		RC 壁型枠外しのまま	B	RC 壁型枠外しのまま	B	－				
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	ユニット型空調機械室 1	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布	B	－		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	GW ガラスクロス押え t25	B	－				
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	ユニット型空調機械室 2	改修前	コンクリート直押え ハードナー塗布	B	－		RC 壁型枠外しのまま GW ガラスクロス押え t25	B	GW ガラスクロス押え t25	B	－				
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	コート1	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	B	－		RC 壁型枠外しのまま	B	－						
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	コート2	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	B	－		RC 壁型枠外しのまま	B	－						
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	室外機置場 1	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	B	－		RC 壁型枠外しのまま	B	－						
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
	室外機置場 2	改修前	コンクリート直押え 浸透性塗布防水	B	－		RC 壁型枠外しのまま	B	－						
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	
2 階	南コンコース	改修前	ウレタン樹脂塗床	B	－		壁部：RC 化粧打放し 鉄部：溶剤 1 液反応硬化形エポキシ 樹脂系 さび止め塗料の上、HALS 配合超速乾形金属用溶剤形アクリル樹脂系塗料 (商品名) 錆止：スズカファイン/エポブラ 仕上：スズカファイン/メタルトップ	A C	鉄部：溶剤 1 液反応硬化形エポキシ 樹脂系 さび止め塗料の上、HALS 配合超速乾形金属用溶剤形アクリル樹脂系塗料 (商品名) 錆止：スズカファイン/エポブラ 仕上：スズカファイン/メタルトップ	C	－			ロールスクリーン 手摺 喫煙ブース 備考) 竣工図には「鉄部：長油性フタル酸樹脂塗装」と記載されているが、現場にて左記仕様に変更（現場監理写真にて確認済）	C B A
		改修後	(現状のまま)				(現状のまま)		(現状のまま)		↑	↑		(現状のまま)	

		改修後	表面研磨・既存塗材撤去の上、 ウレタン樹脂塗床				壁部：（現状まま） 鉄部：（現状まま）		－		↑	↑		ロールスクリーン：現況まま 手摺： 喫煙ブース：（現状まま）	
	車椅子用スペース	改修前	ウレタン樹脂塗床	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－			手摺	
		改修後	表面研磨・既存塗材撤去の上、 ウレタン樹脂塗床				壁部：（現状まま） 鉄部：（現状まま）		－		↑	↑		手摺	
	東西北コンコース	改修前	ウレタン樹脂塗床	B	－		RC 化粧打放し	A	－		－				
		改修後	表面研磨・既存塗材撤去の上、 ウレタン樹脂塗床				壁部：（現状まま） 鉄部：（現状まま）		－		↑	↑		ロールスクリーン：現況まま 手摺： 喫煙ブース：（現状まま）	
	設備スペース 1,2,3,4	改修前	ウレタン樹脂塗床	B	－		鉄部：溶剤 1 液反応硬化形エポキシ 樹脂系 さび止め塗料の上、HALS 配 合超速乾形金属用溶剤形アクリル樹 脂系塗料 目隠し：スチールパンチング焼付塗装	C	－		－				
		改修後	（現状のまま）				鉄部：既存塗装及びサビ除去の上、 DP-1 塗装 目隠し：パンチングメタル撤去、同材更 新 DP-3 塗装		鉄部：既存塗装及びサビ除去の上、 DP-1 塗装		↑	↑		キャットウォーク用梯子設置 スチール製 DP-3 塗装	
	多目的 WC 5（HDC 5）	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水	B	ソフトビニール巾木	B	RC 壁型枠外しのまま 補修 ビニルクロス	B	プasterボード AEP	B	2500	塩ビ		手摺 ベビーベッド	B
		改修後	（現状のまま）				ビニルクロス撤去、張替		（現状のまま）		↑	↑		手摺 ベビーベッド新設	
	多目的 WC 6（HDC 6）	改修前	長尺塩ビシート モルタル下地 樹脂塗膜防水	B	ソフトビニール巾木	B	RC 壁型枠外しのまま 補修 ビニルクロス	B	プasterボード AEP	B	2500	塩ビ		手摺 ベビーベッド	B
		改修後	（現状のまま）				ビニルクロス撤去、張替		（現状のまま）		↑	↑		手摺 ベビーベッド新設	
	外部 DS 1,2,3,4	改修前	機械基礎、土	B	－		アルミレバー								
		改修後	（現状のまま）				（現状のまま）		（現状のまま）		↑	↑		（現状のまま）	
3 階	放送室	改修前	ビニルタイル（木軸床組）	B	ソフトビニール巾木	B	ケイカル板 AEP	B	岩綿吸音板 AEP	B		塩ビ	S	カーテンレール 配線ビット 遮光カーテン	B B B
		改修後	ビニルタイル貼替え（音響工事改修 に伴う範囲）		（現状のまま）		（現状のまま）		（現状のまま）						
	放送室（外装・階段等）	改修前	床柱梁：長油性フタル酸樹脂塗装 目隠し：スチールパンチング焼付塗 装	B	軒天：スチールパンチング焼付 け塗装	B	外装：亜鉛めっき銅板	B	屋根：銅板	B		塩ビ	S	鉄骨階段：長油性フタル酸樹脂塗装	B
		改修後	既存塗装及びサビ除去の上、DP-1 塗装		既存撤去の上、同材料張替		（現状のまま）		（現状のまま）					既存塗装及びサビ除去の上、DP-1 塗装	

2-4 及び 2-12 の章で示した、改修が必要な建具を示す。



備考) 建具詳細は既設竣工図参照のこと

2-18 改修計画 建具キープラン (2階)

